

宝物館 9

源平ゆかりの宝物や歴史的遺物を展示



■青葉の笛

源平一ノ谷の合戦で熊谷直実に討たれた平敦盛が、肌身につけていた愛用の笛。古来より須磨寺の代表的な宝物として知られています。

いちげん

■一絃須磨琴

在原行平が須磨の地に流された時に創始した琴。一枚の板に一本の絃を張つただけの珍しい琴の音を、お聞きいただくこともできます。(要予約)



《須磨寺周辺・交通のご案内》

- 徒歩／山陽・阪神「須磨寺駅」より北へ5分。
市バス「天神下」より北へ12分、JR「須磨駅」より北へ12分。
- バス・乗用車／国道2号線の千守交差点の標識に従って北上、高速道路の場合、東より阪神高速月見山ランプ、または西より第2神明高速須磨ランプを経て旧神明道路へ出てからトンネル越えてすぐ。



大本山須磨寺 (上野山福祥寺)

〒654-0071 神戸市須磨区須磨寺町4丁目6-8
電話 078-731-0416(代) テレホン法話 電話 078-732-5800
ホームページ <http://www.sumadera.or.jp/>

2019.4.30TH-初3



源平ゆかりの名利

大本山須磨寺

平敦盛



真言宗須磨寺派の本山。仁和二年(八八六)に、聞鏡上人が勅命を受けて、当地に聖觀世音菩薩像を本尊として奉祀したのが始まりとされます。正式名は上野山福祥寺ですが、古くから「須磨寺」の通称で親しまれています。平敦盛愛用の「青葉の笛」や「弁慶の鐘」、さらに「敦盛首塚」や「義経腰掛の松」など、多数の重宝や史跡があり、「源平ゆかりの古刹」として全国に知られています。古来より源平の浪漫を偲んで訪れる文人墨客も数多く、広い境内のあちこちに句碑、歌碑が点在しています。



■本堂 ①

開創当時は、在原行平が参籠して、勅勅を許されたと伝えられています。現在の本堂は慶長7年(1602)に豊臣秀頼が再建したもの。内陣の宮殿は応安元年(1368)の建造で重要文化財に指定されています。本尊は聖觀世音菩薩。

■源平の庭 ⑫

一ノ谷での平敦盛と熊谷直実の一騎打ちの場面を再現した庭です。直実に討たれた敦盛の話は、平家物語の中でも最も悲しく涙を誘う物語として知られています。

息吹く千年のものがたり
源平ゆかりの古刹



■貞照寺 11

元々は一ノ谷にあった寺院で、阪神淡路大震災で倒壊し、須磨寺に移されました。本尊は鯖大師。

■櫻寿院 13

塔頭三院の一つで本尊は阿弥陀如来。平成7年(1995)に阪神淡路大震災で倒壊。平成13年(2001)に再建されました。

■仁王門 14

仁王門は、源三位頼政の再建、仁王力士は運慶及び湛慶の作と伝えられています。

■正覚院 15

塔頭三院の一つで、本尊は愛染明王。靈験あらたかなこの明王は幸運を開き、愛嬌を授けるといわれています。

■亞細亞万神殿 16

平成28年(2016)春、落慶。アジアの神々の石像を回廊を囲むような形で安置、真に迫る傑作ぞろい。自然光に照らし出された、無限に広がる石像の美しさが体感できます。

■書院・本坊 17 18

本堂と共に須磨寺一山の中心で真言宗須磨寺派の宗務所ともなっており、書院は阿弥陀如来を本尊とする持仏堂でもあります。本坊は一絃須磨琴の保存会本部、稽古場にもなっており、その他、各種法要などが営まれています。

■青葉殿 19

平成16年(2004)春、緑に囲まれた歴史ある須磨寺にふさわしい納骨堂「青葉殿」が完成。從来の納骨堂を新たにするとともに、昨今の墓地事情を考慮した永代使用の納骨壇を1,000基安置しています。また、法事・葬儀等にご利用いただける部屋もございます。



須磨寺には20数箇所の句碑・歌碑・文学碑が点在しています。

【芭蕉句碑】20

「須磨寺やふかぬ笛きく木下闇」「芭の小文」の旅で当寺に詣でた折の句。昭和43年佐野千遊が建て、字を橋間石が書く。

【真鍋豊平歌碑】21

「ひとすじに心こめたることなれば千代のしらべもたえじとぞおもふ」豊平は一絃琴大成の名人で全国を廻つて数多くの門弟を指導した。

【尾崎放哉句碑】22

「こんな良い月をひとりで見て寝る」放哉は放浪の自由律の俳人。大正末期、大師堂の堂守として9ヶ月余りを過ごした。

【子規句碑】23

「暁や白帆過ぎ行く蚊帳の外」明治28年7月、結核治療のために入院していた「須磨保養院」で9ヶ月余りを過ごした。

【蕪村句碑】24

「笛の音に波もよりくる須磨の秋」芭蕉と並び称される俳人・蕪村。彼も源平のロマンを偲んで須磨を訪れている。

歴史・文化に彩られた 清涼の地——須磨寺



■護摩堂 2

平成24年(2012)に改裝されました。旧堂は明治36年に再建されたもの。年間行事の主な祈祷法要は当堂で執り行われています。

■大師堂 3

宗祖弘法大師が祀られており、須磨のお大師さんとして毎月の縁日には多くの参拝客で賑わっています。

■八角堂 4

経木供養所。水向け所。

■三重塔 5

弘法大師1150年忌、平敦盛800年忌、当寺開創1100年を記念して昭和59年(1984)に再建されました。旧塔は400年前、文禄大地震の際に倒壊しました。

■平敦盛の首塚 6

かつてここに笛を奉納して子供の健康を祈る風習がありました。ちなみに胴塚は一ノ谷にあります。

■奥の院 7

平成25年(2013)に改裝されました。宗祖弘法大師が祀られています。

■寺務所・納経所 8

平成11年(1999)春に大改裝され、広間には須磨寺「からくり時計」が飾られています。

■宝物館 9

青葉の笛などの平敦盛と源平ゆかりの宝物や須磨寺の歴史的宝物が展示されています。

■蓮生院 10

塔頭三院の一つで、本尊は不動明王。平成7年(1995)に阪神淡路大震災で倒壊。平成18年(2006)に再建されました。

須磨寺案内図

①龍華橋より

本堂へ 130メートル

青葉殿(しょうようでん)へ 400メートル

奥の院へ 800メートル